

議 事

(2) 流域懇話集会及びハガキ等による
流域住民のご意見について



意見集約方法の概要

・平成19年3月にコレカラボイスその3 (総括編) を発行

コレカラボイスその1 (H16.3)

課題に関する意見

平成15年3月～平成16年1月までにいただいた意見



コレカラボイスその2 (H17.8)

整備の考え方に関する意見
具体的な場所に関する意見

平成16年5月～平成17年3月までにいただいた意見



流域懇話集会
(平成18年10月開催)

オープンハウスやハガキ等
(平成17～18年10月まで)

コレカラボイスその3 (総括編) (H19.3)

現状と課題に関する意見
整備の目標に関する意見
整備の実施(メニュー)に関する意見

平成15年3月～平成18年10月までにいただいた意見



土岐川庄内川
流域委員会

土岐川庄内川
行政連絡会議



市民のみなさんとの対話の経緯

- ・HPやハガキのほか、簡単に気軽に対話できるオープンハウスから、深く密に対話できる市民意見交換会など数多くの手法、機会を作った。

市民との対話 機会 時期	市民との対話機会			
	広く オープンハウス	流域懇話集会	車座集会	深く 市民意見交換会
コレカラボイス その1 発行まで <H15.3-H16.3>	13回 (36日)	-	3回	4回
コレカラボイス その2 発行まで <H16.4-H17.8>	37回 (96日)	-	5回	8回 (川歩き2回含む)
コレカラボイス その3 発行まで <H17.9-H19.3>	14回 (38日)	6回	-	土岐川庄内川 交流会として 継続
計	64回 (170日)	6回	8回	12回

オープンハウスの実施状況



H18年秋 アルテ西枇杷島店

H16年春 ジャスコ瀬戸みずの店



車座集会の実施状況



H16年夏 名古屋市北区
市立北中学校

H15年冬 多治見まなびパーク



市民意見交換会の実施状況



H15年冬 第3回 上流川歩き

H16年夏 第7回
アイデアのとりまとめ



第11回土岐川庄内川流域委員会以降の状況

- 平成18年8月の第11回の流域委員会以降、コレカラプロジェクトレポートVol.2を公表し、ホームページやハガキ、流域懇話集会など、市民の関心に応じたいろいろな手法を通して意見を把握

H18.8

第11回土岐川庄内川流域委員会



H18.10

コレカラプロジェクトレポートvol.2
～河川整備目標と整備メニュー案～

H18.10
-H19.3

流域懇話集会(6会場)

オープンハウス(3会場)

意見ハガキ

ホームページ



春日井会場



清須会場

H19.3

コレカラボイスその3に取り込み

第11回土岐川庄内川流域委員会以降の意見集約

・約100名の方から500件の意見を集約

意見把握手法	回答者数	意見数
流域懇話集会 (H18.10.5～10.22) 全6会場	56名	422件
オープンハウス (H18.9.30-10.15) 全3会場	21名	45件
意見ハガキ	20名	27件
ホームページ	2名	5件
計	99名	500件



流域懇話集会の実施状況(下流)



H18.10 清須市庄内川
水防センター

H18.10 中川生涯学習センター



流域懇話集会の実施状況(中流)



H18.10 春日井市
南部ふれあいセンター

H18.10 守山生涯学習センター



流域懇話集会の実施状況(上流)



H18.10 多治見市
産業文化センター

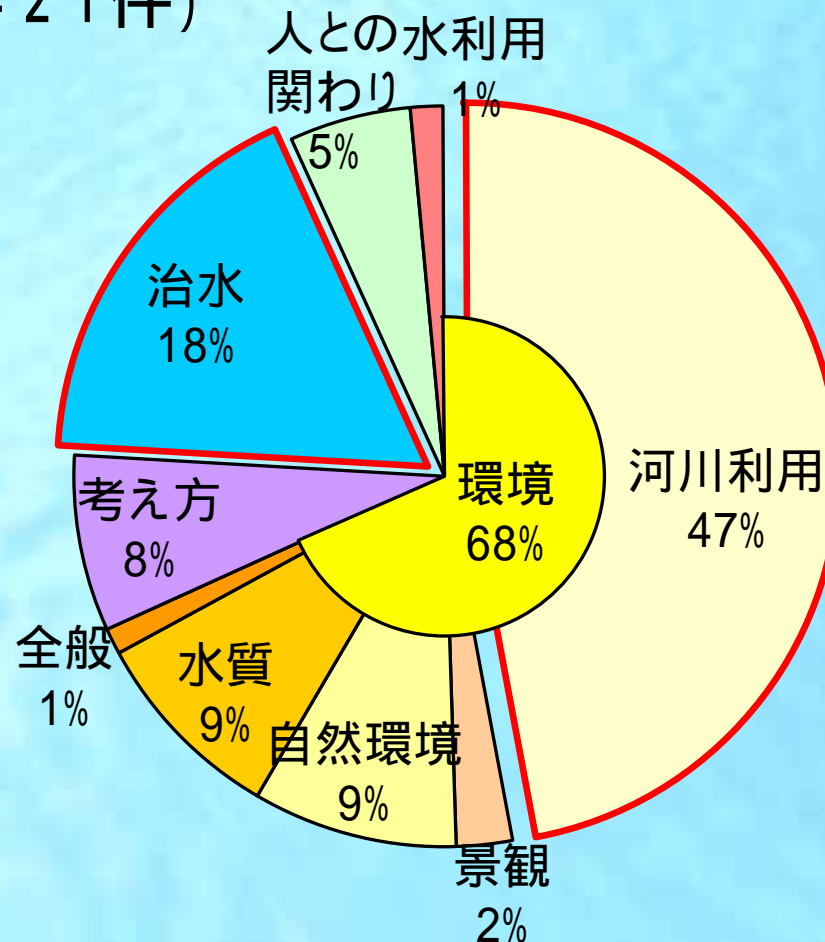
H18.10 セラトピア土岐



意見の概要

- ・環境に関する意見が68% (うち河川利用が47%) と多い
- ・次いで治水に関する意見が18%

全体の意見 (421件)



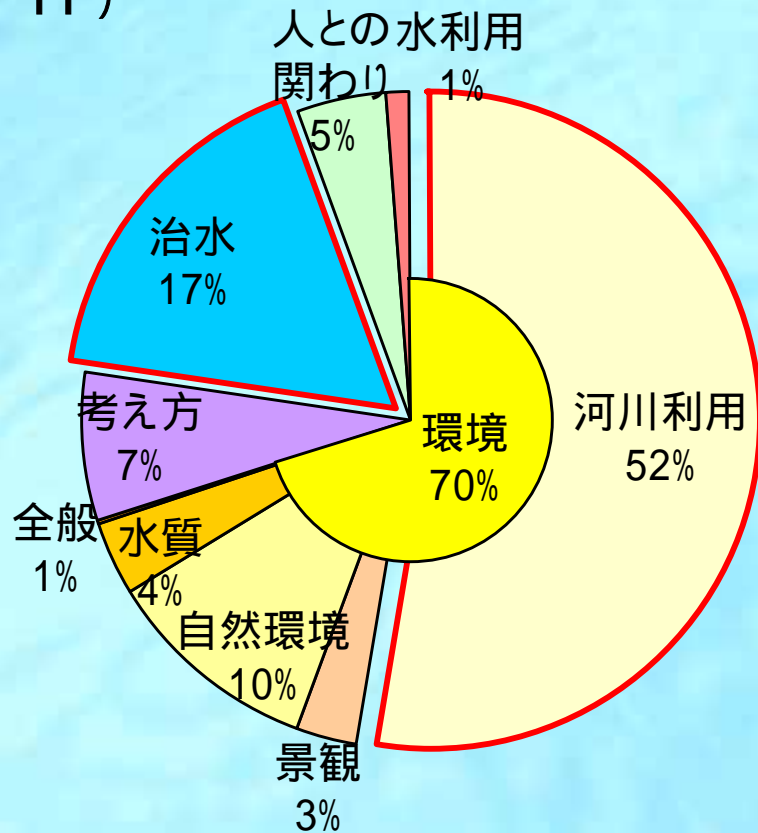
全意見のうち「プロジェクトの進め方」を除く421件を対象として整理



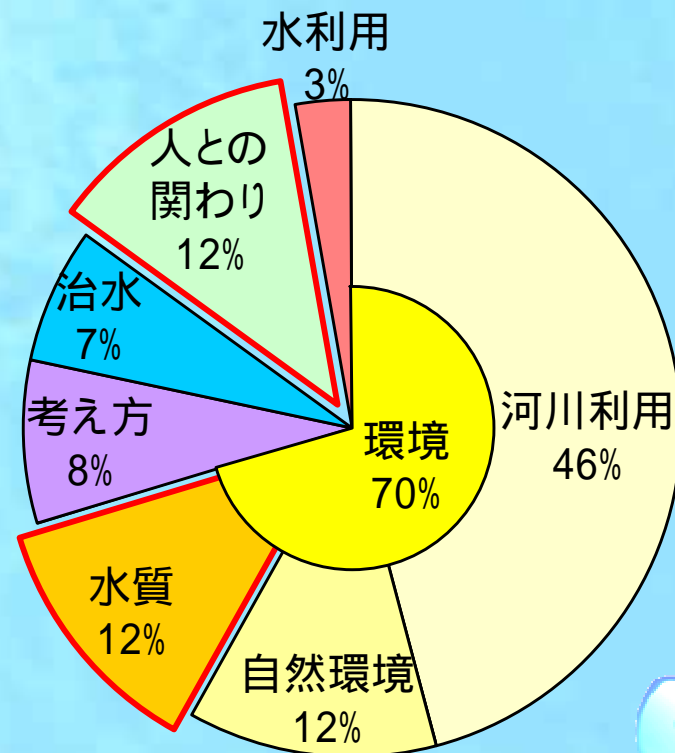
意見の属性分析(沿川内外別)

- 沿川の市区町に居住する市民は、治水や河川利用など、生活と直結する内容への関心が高い
- 沿川外の市民は、人との関わりや水質などへの関心が高い

沿川内(194件)



沿川外(74件)



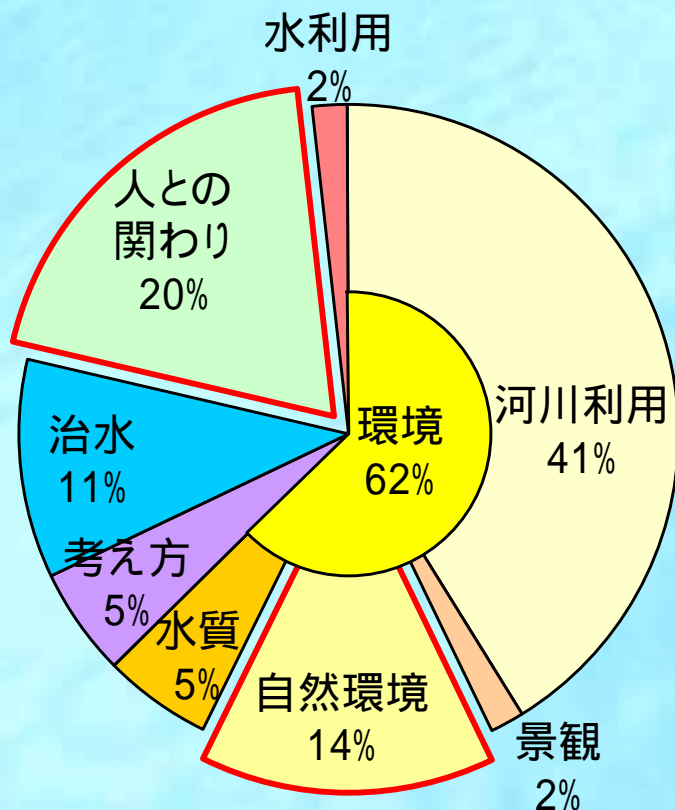
居住地が確認できる方の意見のみで整理



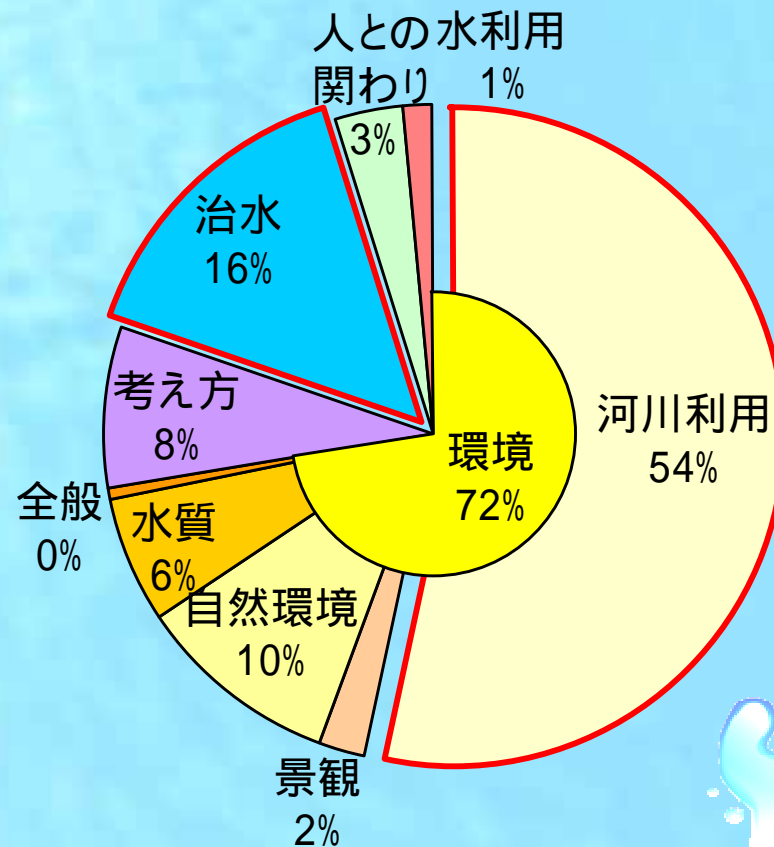
意見の属性分析(県別)

- ・岐阜県内では、人との関わりや自然環境への関心が高い
- ・愛知県内では、治水や河川利用への関心が高い

岐阜県内(56件)



愛知県内(212件)



居住地が確認できる方の意見のみで整理



意見の内容

- ・若干の新たな情報も寄せられたが、ほとんどがこれまでの意見と同じ主旨であることから、市民からの意見や情報はこれまでにほぼ出され尽くしたと考えられる

【第11回流域委員会以降に出された、これまでにない「新たな」意見の例】

考え方

- ・30年の目標なのだから、何かそういう夢のあるわかりやすい目標を立ててほしい。(春日井市、男性)

治水

- ・JR枇杷島橋の架け替えは治水対策以降に実施すべき。まず治水の安全性を確保することが重要。(清須会場)

河川利用

- ・市民と河川の親しみふれあいをもてる環境としての整備も必要。「良い子は川で遊ばない」ところでは困る。(春日井市、男性)
- ・堤内地農地の耕作者が高齢化しているためいつまで続けられるか不安。(清須会場)



意見の内容(つづき)

【第11回流域委員会以降に出された、これまでにはない「新たな」意見の例】

自然環境

- 松並木をつくることで、名古屋市を突っ切る風の流れをつくりたい。 ヒートアイランド対策(中川区、男性)

景観

- 万場～松並木の良い景観を保つため(下のネオンサインなどを隠す) (中川会場)

水質

- 農業で化学肥料ではなく堆肥を使うようにしている(試験的に堆肥を使って田んぼづくりもやろうとしている)ので、上流の水質は変わっていない。(恵那市、男性)

環境全般

- 川づくりの目的に自然、歴史のことをきちんと盛り込み、庄内川を「川の博物館」とするという分かりやすい目標をたててはどうか。(春日井市、男性)

人との関わり

- 川をきれいにする市民活動の交流があまりない。学校単位でできるようになると、活動が広がる。(土岐市)

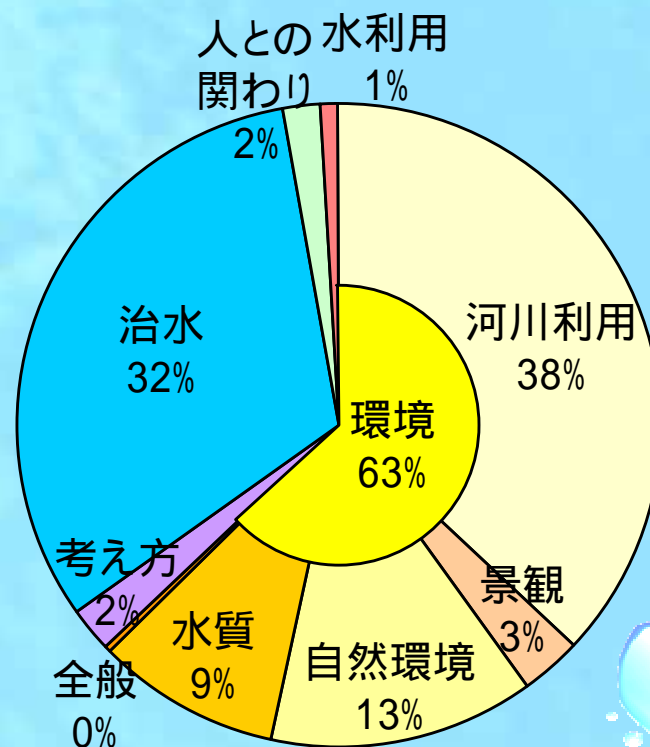
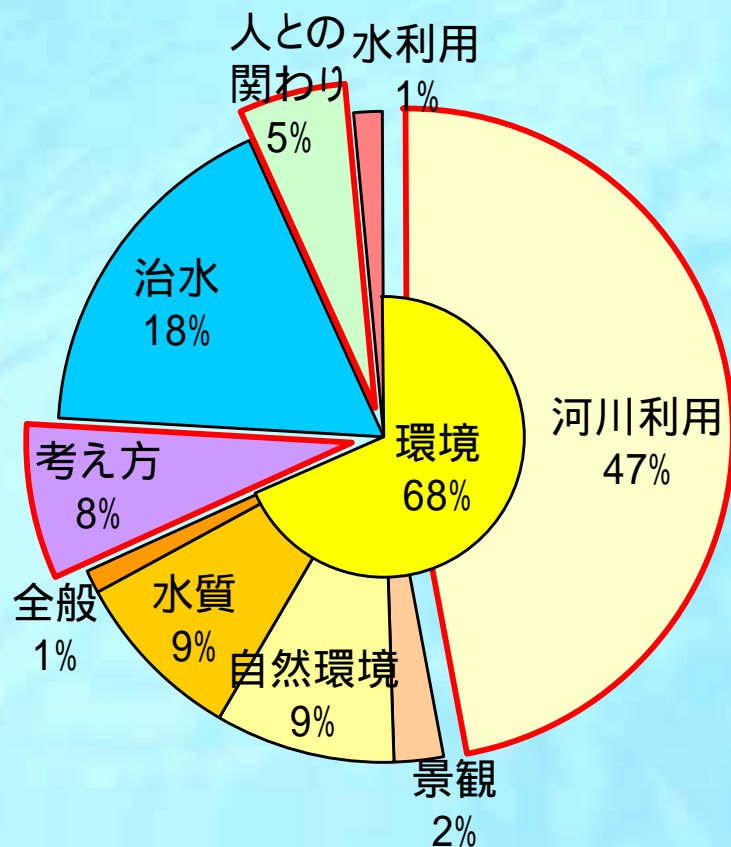


これまでの意見との傾向の比較

・意見の把握の仕方が異なるため単純比較はできないが、検討内容が進んだためか、これまでの意見に比べて、「河川利用」や「考え方」、「人との関わり」に関する意見が増加した

第11回流域委員会以降の意見(421件)

これまでの意見(2121件)



これまでの意見とは、平成18年9月以前に寄せられたもの

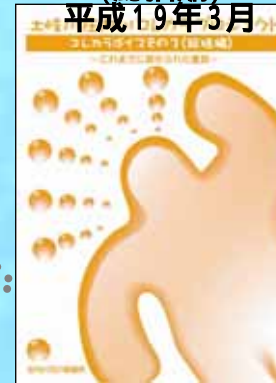


コレカラボイスその3 (総括編) の位置づけ

・コレカラボイスその3 (総括編) は、河川整備計画 (原案) のとりまとめに向けてこれまでの意見を総括したもの

ステップ3

コレカラボイスその3
(総括編)
平成19年3月



土岐川庄内川
行政連絡会議

土岐川庄内川
流域委員会

ステップ1

コレカラボイスその1
(課題編)
平成16年3月

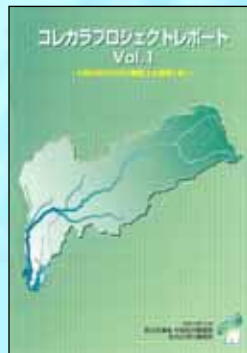


土岐川庄内川
行政連絡会議

土岐川庄内川
流域委員会

市民の意見

コレカラ
プロジェクト
レポートvol.1
～河川整備上の課題(案)～
平成16年10月



ステップ2

コレカラボイスその2
(整備の考え方編)
平成17年8月

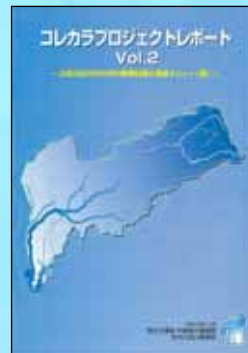


土岐川庄内川
行政連絡会議

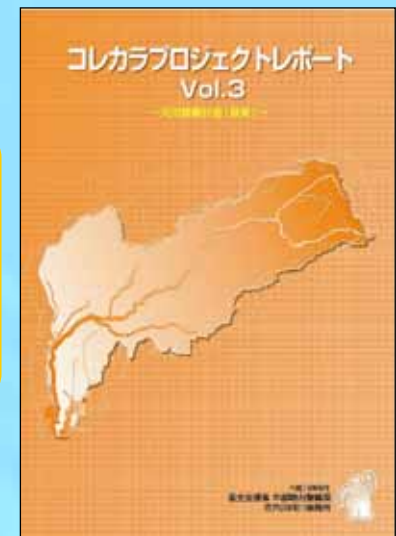
土岐川庄内川
流域委員会

市民の意見

コレカラ
プロジェクト
レポートvol.2
～河川整備目標と整備メニュー(案)～
平成18年10月



コレカラ
プロジェクト
レポートvol.3
～河川整備計画(原案)～
平成19年5月
発行予定



コレカラボイスその3 (総括編) の構成

・コレカラボイスその3 (総括編) は河川整備計画(原案)にあわせた構成

意見の取りまとめの構成

- 1 . 現状と課題
- 2 . 河川整備の目標
- 3 . 河川整備の実施
- 4 . 地域と連携した取組み

参考：具体的な場所に関するご意見

